

☺ 昼休み 45分に反対!

市の職員の昼休みを1時間から45分にするという条例にたった一人反対しました。市民にとってのサービス低下に繋がると思うからです。45分では外に食べに行くことも大変。市役所の周りの食べ物屋さんも大変ですが、その短い休憩で市の職員の労働能力が低下することを心配しています。誰だって、昼休みは少しゆっくりしたい。軽い運動もいいでしょう。それが午後の仕事への活力となるのです。しかも議会は今まで通り1時間の休憩がある。これはおかしい。だから一人でも反対したのです。僕は中学校の教員でしたから、昼休みの短さには慣れていません。給食を準備して、給食を食べて、片付けて...校庭でサッカーをやっていると直ぐに予鈴のチャイムがなります。汗だくで階段を駆け上がり、5時間目の授業に向う...もう少し昼休みが長かったら、もっと子ども達と遊べるのに...いつもそう思っていました。昼休みは子ども達と語る時間でもありましたから...。昼休みに何気なく語る、それが午後の仕事に繋がることがあります。市役所でもそれは同じだと思います。たかが15分ですが、それが市民のプラスになるなら、やはり減らすべきではありません。

9月からの昼休みが目に見えます。9月議会が始まり、12時から昼御飯の僕らに対し、議会事務局や教育委員会は15分までお預けです。その15分だけ何をしているのでしょうか。議員だけ1時間の昼休みでは賛成できません。5時過ぎ、議会が終わってから暫く控え室にいたことがありません。7時過ぎになっても8時過ぎになっても、市役所の電気が消えていることはありません。教育委員会などは毎晩10時過ぎまで仕事をしています。昼休みくらい、1時間ゆっくりとして欲しい。「お役所仕事」は遅い。と一般的には言われていますが、笑顔で頑張る職員も沢山いるのです。

たかむら ともや の連絡先

〒352-0033 新座市石神 3-19-32-106

自宅 042-456-8860

携帯 090-6497-5737

一生懸命

ああ大失敗!

3年間続けてきた一般質問をこの6月議会ではすることができませんでした。余りにも恥ずかしい理由で書きたくないのですが...通告の提出日を一日間違えたのです。完全に勘違いだったのですが、手帳に書き込んでいた日が最初から、通告締切日の次の日になっていたのが気がつきませんでした。

1月前から質問事項は決まっていたし、通告文もできあがって、提出するだけになっていたのに、本当に残念です。



2006年秋 東北大テニス部の先輩達と

たかやんのプロフィール

1954年、東京都新宿区生まれ。都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、朝日新聞の「今学校で!」を読み、教師になることを決意する。1977年新座五中に赴任。五中で10年、六中で10年、二中で1年、計2年間を子ども達と一緒に生き、授業に、クラスにそしてテニスに燃える。1998年、新座市新堀1丁目に新座の寺子屋「たかやん塾」を開校。2004年2月の選挙で、お金をかけずに戦い1272票で当選。小中学生と共に歩みながら「教育問題」「財政問題」を中心に発言を続けている。野寺4丁目、畑中3丁目を経て、現在は石神3丁目に在住。趣味はテニス、サッカー、囲碁、将棋、料理。二男一女の父。